

青雲館新聞

発行
秋田県立横手高等学校
青雲館
◎出版委員会

〒013-0037
秋田県横手市前郷二番町
10番1号
Tel 0182-32-2011
FAX 0182-32-0133

特集 星河祭を振り返る

趣向を凝らして…

クラスごとの工夫

10月18日(土)に行われた星河祭一般公開は、昨年度以上にし出し物などに工夫が見られた。4年次はきつねうどんの販売、3年次はゲーム大会、2年次はお菓子のつかみ取り、1年次はフォトスポットとドリンク販売、II部はクイズ大会と、クラスごとの工夫が随所にあつた。

一年次

1年次A組は「フォトスポット」をしました。

最初は意見がまとまらず不安でしたが、準備期間に入ったらみんなやる気を出して仲良く作れて良かったです。打ち合わせをあまりしていなかったため、材料を僕だけが買ってきたのかと思ったら他の人も買ってきてくれてとても嬉しかったです。星河祭本番ではハロウィンをイメージした場所とピンク色の可愛い場所を出しました。予想以上に撮ってくれる人がいて、

自分達でも写真を撮れて楽しかったです。作成から片付けまでみんな楽しく過ごせていい思い出になりました。

1A 菅 莉音

1年次A組はフォトスポットをしました。話し合いではなかなか意見が出ず、どうなるのか心配でしたが、意見がまとまって協力して作ることができたので良かったです。かわい系とハロウィンイメージの二つのスポットをそれぞれに分かれて作りました。セロハンテープが少なかったため他の人が使っていないときに



みなさん ありがとうございます。

修学旅行報告

11月11日(火)から14日(金)まで2年次の修学旅行でした。修学旅行生や外国人など観光客で賑わっており、特に山に登る際にはなかなか前に進まない場面が多々ありました。ごせました。

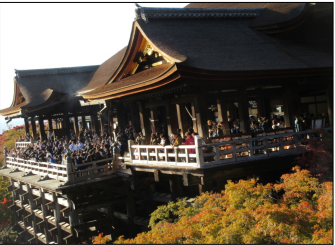
一日目の夜は京都のホテルでのビュッフェ夕食でした。友達と食べる食事はいつもの夕食とはまた違った雰囲気を感じて楽しかったです。食事しながら少しおしゃべりしたり、この後何をするか話したりと何気ない会話をすることさえ楽しかったです。

二日目の京都散策では、伏見稲荷大社の他に京都水族館へも行きました。海の生き物がたくさんいて、半日ではとても回りきれないほどの魅力が詰まっています。中でも印象に残っているのは、イ

です。トレナーの解説付きでイルカのトレーニングや食事風景を見学することができて、とても新鮮な体験をすることができました。

修学旅行では伏見稲荷大社などの観光施設に赴いたり、普段は食べることができないような豪華なご飯を頂きましたが、一番印象に残ったのはホテル内での団欒でした。いつもは話せないようなクラスメイトとの会話やゲーム大会など、隣人と非日常を味わえた学校生活がとても楽し

2B 細井 杏侑子



星河祭へようこそ！

無事完成させることができたので良かったです。星河祭では、多くの人が撮ってくれているのを見て、頑張った良かったなと思えました。片付けでは、風船を割ったり、画鋲を外したり、協力して終えることができました。星河祭前より仲が深まり、いい経験ができたので良かったです。

1A 稲葉 希彩

私たちのクラスの出し物は大きく分けて三つありました。一つ目は飲み物販売でした。美酢を炭酸や水で割った飲み物を出しました。ありがたいことにたくさんの方に買っていただきました。二つ目は輪投げをしました。クラスみんなで協力して作りました。意外と成功率が低く、成功した方や来てくださった方には景品としてお菓子をプレゼントしました。沢山の方に

喜んでもらえて良かったです。三つ目はストラップアウトです。一番製作時間が長く、色塗りをする作業に苦戦しました。子どもの方にも大人の方にも楽しんでもらえたので頑張ったかがあります。こちららも景品にお菓子をあげました。参加賞とは別に、5球全ての命中すれば少しグレードアップした景品を渡すという工夫もしてみました。どの出し物も楽しんでもらえたみたいで良かったです。今年の文化祭を活かして来年の文化祭も盛り上げていきたいと思っています。

1B 加藤 凛

II部

私たちII部は、「合言葉を集めてお菓子を貰おう！合言葉宝探し！」を提供しました。責任者である私は当日の一般公開の日は、少し遅れてきま

したが、思っていたより楽しんでいただけたようでお菓子はほぼ完売でした。そして「合言葉の配置を各クラスの出し物付近や学級新聞に掲載したりなどすることによって、すべてを巡ってもらい楽しんでいただく」という目的も達成できたのではないかと思います。ただ本番はうまく行かなかったものの、準備の面では最後まで時間を取ってしまっただけでもう少し早く取り掛かり余裕を持って本番に臨みたかったと思いました。

1C 菅原 理大

一二年次

2年次A組は『ドリンクやさん』を行いました。今年は修学旅行の話合いもあり、準備期間が短かったのですが、メニュー表を作って設置したり、外観や黒板を可愛らしく飾り付けしたり、クーラーボックスや保冷剤を持ち寄ったりなど計画的に協力していました。販売時には、役割分担をしながらスムーズにお店を回せたと感じます。団体や差し入れにと複数個購入されるお客様が多く見られ

2A 土田 真緒

三年次

3年次B組では、私が主導して『青雲大会』と銘打ったゲーム大会を企画しました。準備段階から数人のメンバーと共にセッティングやお菓子詰め合わせを作ったりなど、時折苦しみながらも楽しく準備を進めました。当日には「ぶよぶよテスト2」と「大乱闘スマッシュブラザーズSPECIAL」

3B 沖田 太夢



ただいま準備中です
2Bは「おかしフェスティバル」

↑3Aによる販売
どら焼き、玉こんにゃく
大人気



星河祭特集

四年次

4年次は「きつねうどんの販売」を中心に屋台を出しました。3月に卒業した仲間も手伝いに来たり、担任の先生が腕を振るったり、副担任の先生が接客するなど大繁盛でした。



調理中・販売中



図書紹介

阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし



テーマ&ポスター

Kaleidoscopeは、「多様性」と「可能性」を表現しています。万華鏡(Kaleidoscope)の筒の中では、色とりどりの小さな色々々な人たちが手を取り合い一つの作品をつくりあげ、とても素晴らしいものに生み出します。

この学校にいる方々は生徒、先生たちを含め多種多様な人が多いと感じることがよくあります。テーマ制作のとき、たくさん色々々な人たちが手を取り合い一つの作品をつくりあげ、とても素晴らしいものに生み出します。



全校生徒によるモザイクアート

星河祭のポスターの構図は、かなり早い段階でできていました。テーマのおり、万華鏡をそのまま描いても良かったものだと感じます。

このテーマは、多様な個性が集まる本校だからこそ生まれたものだと感じます。

2C 高橋 侑里

ジヴェルニの食卓

原田マハ

印象派の画家たちの傍らにいた人々を描いた作品。言葉一つ一つが美しさを持つ、例えるなら読む絵画。



音楽は自由にする

坂本龍一

「戦メリ」でお馴染み、坂本龍一さんの初の自伝。激動の時



2A 図書委員



生徒会企画クイズ大会



↑ 令和7年度
星河祭ポスター

のですが、それでは鮮やかな模様ばかりで、見てくたさる方の視線が散らばってしまいます。それを防ぐため、万華鏡の模様は一部のみを描こうと考えました。そして、女の子が手で塗った絵の具に、万華鏡の模様が映り込んでいくという構想になりました。女の子の右手、穴をつくってそれを覗くというポーズは、画面の寂しさをなくすために線画段階で付け加えたのですが、結果的に「万華鏡を覗く」動作のように見え、良かったなと思います。鮮やかな色だけでなく、無彩色も取り入れて、絵としてのバランスを整えるとともに、「無彩色もほかを鮮やかにする主役」というところから、「みんなで星河祭をよりにぎやか、鮮やかにする」という意味合

いよいよ終わりが近づいてきました。同級生や先輩方も進路が決まり、合格者も多数出ています。合格者も自分自身も大学に合格でき、来年度からは千葉県へ行くこととなりました。生まれ育った秋田県を離れるのは不安ですが、同時に新天地への希望も抱いています。出版委員会の活動も最終盤というところで、これから様々な仕事が舞い込んでくることでしょう。

今年度も色々なことが数多くありました。特に大きなことと言えば「なべっこ」が復活したことでしょうか。クラス内祭をよりにぎやか、鮮やかにする」という意味合

いを付け加えました。

3A 黒澤 奏来

委員長代理のコラム

で班を作り、道具や材料まで全てを班の裁量で決定でき、私が所属した班は予算にして4000円の豪華なビーフシチューを作ることにし、半分の2000円はお肉に消えました。さらに、今年

の2000円はお肉に消えました。さらに、今年

の2000円はお肉に消えました。さらに、今年

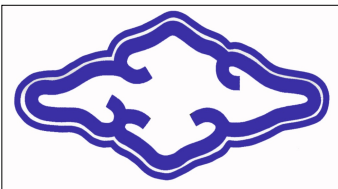
の2000円はお肉に消えました。さらに、今年

編集後記

星河祭一般公開のお客様が校内を回り、生徒玄関前ピロティには、屋台で購入したうどんや玉こんにをほおばる保護者や生徒が楽しそうにしています。このように賑わった星河祭は令和元年以来かもしれません。今回は一般入場者も参加してのクイズ大会など新しい企画もあり、地域の中の学校という青雲館の魅力が発

揮できた学校祭だったと思います。委員長代理コラムにもあるように、入学式が青雲館で挙行され、避難所開設訓練、なべっこ行事が復活するなど、大きな動きがありました。卒業生をパネリストに迎える進路講演会など、学校新聞に取り上げる記事は身近にもっとたくさんあるのだと思います。今回は修学旅行の記事も寄せてもらいました。記事作成にあたった生徒のみなさん、ありがとうございました。

出版委員会 小西宗子

ポスター案
その2

3B 沖田 太夢